

たけじざいてん  
**大魔王他化自在天が**  
**私達を護って下さいます**

親鸞聖人の書かれた現世利益和讃げんぜりやくわさんという十五首の歌があります。十首目に「他化天の大魔王が、なもあみだぶつを唱える人を仏陀になるように護り続けるとお釈迦様に誓われた」とあります。

他化自在天たけじざいてんは天上界(欲界)最高の天です。地獄から天上界にいるすべての生命体を自分の思い通りに動かす力があります。その他化自在天が、なもあみだぶつを唱える存在を反逆と敵対せずを守るということは、自分中心の考えをやめて相手中心の思いに寄り添い、相手のために何ができるかを考えて行動してくれているのです。他化自在天は自分も仏陀となろうと願い行動を同じにしているのです。つまり、仏教に帰依しています。同じ仲間と平等に見て下さっています。

親鸞聖人は、天上界最高の他化自在天が仏陀に帰依しているのに、阿弥陀仏を疑い、信じないでいる存在が一番愚かで大魔王以上の大魔王であり、力も智慧もない愚かな凡夫を極悪深重の悪人と見抜いたのでした。

日蓮上人も、他化自在天の働きで、人々は法華経に出遭えないで苦しんでいるが、仏陀を目指す金剛のような堅固な信心をもつ真実の生き方の者には、他化自在天が帰依し護ってくれる。と説かれています。なもあみだぶつも南無妙法蓮華経も仏陀の教えです。どちらが正しいかではなく、どちらも真実の法と感じる人に他化自在天は寄り添って下さっているのです。自分だけが正しくて相手は絶対悪で糺していこうと、自分中心の欲望で仏教を利用する者に対しては他化自在天が愚か者と正すのです。

私達は仏陀に護られすべての神々、大魔王に護られて、真如一如に到達する覚りをいただいて暮らしているのです。合掌

写真は高野川の藤

